

安佐医師会サーベイランス週報 第32・33週 平成29年8月7日(月)～平成29年8月20日(日)

地区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント	
	定点医療機関数	4定点	5定点	2定点	2定点	4定点	5定点	2定点	1定点	1定点			26定点
	対象人口	75,115名	83,974名	38,432名	43,294名	57,093名	63,914名	19,542名	8,518名	1			389,882名
	定点数当り人口	18,779名	16,795名	19,216名	21,647名	14,273名	12,783名	9,771名	8,518名	1			
1 R Sウイルス感染症	7			1	2	2					12	↑	<p>【第32・33週安佐圏域での各種感染症の動向】 ◇32・33週(盆休み週)のため 診療実日数が約8日の集計</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>RSウイルス感染症:2→12件・・・祇園</li> <li>咽頭結膜熱:7→8件</li> <li>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:18→35件</li> <li>感染性胃腸炎:60→74件・・・祇園、高陽</li> <li>水痘:3→11件</li> <li>手足口病:46→48件 多い・・・祇園、高陽</li> <li>ヘルパンギーナ:5→22件</li> <li>流行性角結膜炎:2→8件</li> <li>その他 2件: ヒトメタニューモ 1件・・・T小児アレルギー科 口内ヘルペス 1件・・・F小児科医院</li> </ol> <p>&lt;安佐地区 ヘルパンギーナの推移&gt;</p> <p>・安佐地区 夏後半になり、増加 ・検出ウイルスとしては:COXA6 とA10が多い</p> <p>&lt;安佐地区 手足口病の推移&gt;</p> <p>・安佐地区まだ多い。 ・全国はさらに多い。 ・定点当たりは安佐地区の3倍 ・検出ウイルス:COXA6とエンテロ71が多い</p>
2 咽頭結膜熱	1		2			3	1			1	8	↑	
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	3	6	6	1	16				1	35	↑	
4 感染性胃腸炎	24	1	4			9	34	2			74	↑	
5 水痘	5		3				3				11	↑	
6 手足口病	20	5	1	6	4	12					48	↑	
7 伝染性紅斑							1				1	↑	
8 突発性発しん			1			1					2	↑	
9 百日せき													
10 ヘルパンギーナ	9	1	3	5	2	2					22	↑	
11 流行性耳下腺炎	1										1	→	
12-Aインフルエンザ(A型)													
12-Bインフルエンザ(B型)													
13 急性出血性結膜炎													
14 流行性角結膜炎		6				2					8	↑	
15 麻しん													
16 風しん													
17 MCL S (川崎病)													
18 髄膜炎(細菌性)													
19 髄膜炎(無菌性)										1	1	↑	
20 マイコプラズマ肺炎													
21 クラミジア肺炎													
22 その他		1					1				2	→	
合計	69	17	20	18	24	72	2		3		225		

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言“**イトコール**” 安佐医師会 **873-1840**にも連絡を頂けると助かります!

【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻しん、風しん、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報  
保健センターへの届出用紙有り